

健康・医療新産業協議会 健康投資WG（第9回）
合同開催 日本健康会議 健康経営・健康宣言 10 万社WG（第4回）
議事要旨

日時：令和5年7月18日（火）13:00～15:00

場所：Teamsによるオンライン会議及び経済産業省本館17階国際会議室

出席委員：森主査、岡田委員、小松原委員、塩野委員、樋口委員、古井委員、山本委員、
渡辺委員、八尾様（藤野委員代理）

議題

- **今年度の健康経営優良法人認定制度及び健康経営銘柄の設計等について**

<論点>

1. 今年度の改訂ポイント

女性の健康

- 女性特有の健康課題が認定要件に含まれたこと等は素晴らしい。一方、LGBTQの問題も扱わなくてよいか。産業医面談でカミングアウトする人も増加してきており、企業で問い合わせの対応等の検討も進められているため、LGBTQの問題も広く考えていかなければならない段階では。

特定健診・保健指導

- PHRの活用は重要。いまだ保健指導等うまく活用していない場合が多く、産業医の対応の限界や個人情報保護法の課題があるため、実践可能なところからのサポートを提案したい。支援を健康長寿産業連合会が担うということも一案。中小企業1社では対応が難しいため、連合体を作り地域で利活用していくとよい。
- 特定健診・特定保健指導は、最優先事項であるものの実施率が上がっておらず、せめて銘柄企業に対しては、今後国の目標値以上というような少し高いハードルを設定する等後押しができればよい。
- 特定健診・保健指導については、被扶養者の数値も見ていくようになればよい。

グローバルでの健康経営の実施方針

- 評価対象外であっても影響は大きく、入れることには賛成。ただ入れ込むべき場所は、「制度施策」ではなく「自社の従業員以外への普及」という項目の中に反映されるべきでは。
- 健康経営の国際展開のためにも、日本企業が自社の海外法人でも確実に健康経営を実施していただきたい。日本の産業保健の考え方や労働安全衛生法の基盤は決してグローバルスタンダードではないため、ポリシーを統一した中で、様々な地域の文化や法律に基づいたプログラムで仕組みを構築していただきたい。

その他指標

- 連携の基盤が出来上がりつつあるため、企業の健康経営で要望が今後多く挙げれば、厚生労働省や健康保険組合連合会のデータヘルス計画の中に、健康経営に関するKPIを取り入れていくこ

とも可能になるのではないか。

- 上場企業の人的資本情報の開示に関して、今後健康経営の実績等を開示していくことが社会的な信頼につながり、健康経営の社会への浸透・定着にも効果を生むと考える。
- 現在もまだ健康づくりや予防は自助努力だと認識されているため、職場等のコミュニティにフォーカスしたような指標も重視していただきたい。

配点など評価法の検討

- 制度施策に関する項目数が増えている中、各項目の重要度が薄まってしまっている印象があるため、経営と密接に関わっている項目についての配点の調整を検討する必要がある。
- 産業医を選任していない中小企業の健康経営は難しい状態であり、特に従業員数が数人の企業にとって現在の総バランス的に点数を取らないといけない認定条件はハードルが高い。何か1つでも特筆すべき内容があった場合に、褒め称えられるような仕組みが必要。

2. 今後の健康経営の在り方について

大学教育

- 健康経営の社会への浸透に向け、学校教育の中で健康経営を取り上げるのは如何か。特に大学教育に関して、効果検証や分析の今後の実施を考えると、国として研究者の育成が必要。
- 次世代の若い人たちに健康の基盤を醸成していくことが日本国内で健康経営を普及するうえで重要であり、ヘルスリテラシーの向上に大学が寄与していくことが重要。

中小企業への普及・浸透

- 中小企業には多様な規模の企業が含まれるため、実際の生産性向上や求人にどのようなメリットがあったか等、効果を見える化する必要がある。
- 求人をかけてもなかなか採用できなかったり、定着率が上がらなかったりする企業に対して、健保や協会けんぽから採用上のメリットを強調したアプローチも必要である。
- 中小企業から「健康経営は自社とは関係ない」という反応が多く、家族経営等組織がないことを前提としている規模の企業にとって実施が難しい内容もあるため、健康経営をどのように表現するのか、経営者の方針だけでなく従業員に対する思い入れ等も含め、平易な言葉での「健康経営」も検討する必要がある。
- 中小企業の中でも人数規模が様々であり、すべての項目を満たすことが難しい企業に対して、一定の基準を設けるのかといった何らかの検討が必要。
- プライム500 含め、中小企業法人に対して表彰されやすくなった点は有り難い。

今後の健康経営の在り方や制度の検討方針

- 10年後の働き方を視野に入れた上で、健康経営の在り方や制度の在り方を議論できるとよい。
- 健康経営の意義として、従業員に投資をして企業の価値向上に繋がるというモデルが示されて望ましい反面、多くの企業がこのモデルに追い付いていない。従業員の健康に投資することにどのような目的・意義があり、投資に対してどう評価していくのか考えるべきであり、健康経営の質をどのように向上していくのか再考すべき時期である。

- 国からの働きかけだけでなく、健康投資アドバイザーがハブとなり PR することで、多様な規模・業種の企業が健康経営へ参画し始めている。まさに健康経営の多様性の確保が、これからの成長につながるため、今後はより多様性の確保を全面に出していくとよい。
- 今後の健康経営の普及に関しては、健康経営のメリットを拡大することが重要。指標が洗練されてきてはいるものの、財務インパクトの大きさや、アブセンティーズ等の指標の改善に影響を与える要素が明らかになっておらず、学術領域で検討されている状況のため、推進していく必要がある。
- 次のステップとして、ワークエンゲイジメントは重要になってくる。人的資産を高めるための健康経営は更に重要視されていだろう。企業の経営陣が内部の課題を認識し、社内で共有し、かつ対投資家のみならず、従業員に責任をもって改善することの表明が重要である。健康経営に配慮した良い会社だというだけでなく、その改善を目指して社の問題を認識し、しっかり努力して行こうとする前向きな会社として広がっていくとよい。
- 中堅管理職のリテラシー等も含めて抜本的に課題を解決していかなければ次のステップへは進まず足踏み状態で留まる懸念がある。
- コラボヘルスは今後どのように収斂させていくか検討する必要がある。現場では、手段や手続き自体が分からないという課題や、データを閲覧・活用できる対象者の範囲等、実務上の課題がある。我々が予防健康づくりのアプローチやコミュニケーションにあたって健康経営の事例をどの単位で共有し、どのように推進するかを検討する際にも上記の課題が関係してくる。
- 健康宣言を実施している企業数が 12 万社を超え、日本健康会議における宣言 3 の目標を達成しているため、例えば他企業へ支援制度を提供している企業等へ申請基準を変更するのか、目標値を上げるのか等、何らかの上方修正を検討すべき。
- 健康投資管理会計ガイドラインの見直しの時期にある。学習意欲も併せて高齢労働者のワークエンゲイジメントを高めるような組織の在り方は大きなテーマであり、無形資源に背景があると推測されることから、当時議論が不十分であった経営資源に関して充実させられるよう見直しが求められる。
- 管理会計、財務会計の上で企業が健康経営の取り組みをどのように見ていく必要があるとともに、外部から評価されるような仕組みをどのように構築すべきかフレームワークを作成し、その中でどのように外部発信されるか等も検討していただきたい。
- 健康経営の将来性に関して、産業自体が健康志向になるという視点も大事になる。

健康経営を実施する企業の支援

- 健康宣言をして健康経営を始めようとしている企業に対しどのような支援ができるかは、健康経営を広めていくうえで重要。
- 健康経営アライアンスに関して、健康経営が普及するためには、それを支えるためのソリューション産業や健康医療産業の発展が不可欠なので、地域都道府県単位や同業種業界で同じ共通のソリューションを導入するのは如何か。
- 調査票の項目数が増え、制度も複雑になったため、良質な労働経営コンサルタントや健康経営アドバイザーを制度化して整備することにより多くの企業における健康経営も次のステップへ進むのでは。
- 健康投資減税についても実現を目指していただきたい。

健康経営の質の管理

- 健康経営の取り組みの量が増えていく中で質をどのように向上するのか再考すべき時点にいる。
- 健康経営関連サービスの質の管理の問題は、サービスを選ぶ側に質の意識がないことに原因があり、健康経営を推進する担当者のリテラシーを改善していかなければならない。

地域経済の活性化

- 特に中小企業中心に健康経営を進めるためには、自治体のリーダーシップが不可欠。地域の健康増進計画の中に健康経営という言葉を含め、働き盛り世代へアプローチをするといった地域経済の活性化との連携が必要。
- ヘルスケア分野に進出し、地域の1つの中小企業として地域の健康を守るという役割を果たしたい企業も多く存在する。地域における新たな雇用創出や産業創出の役割を期待して誘導策を実施するなど、地域の活性化促進の観点も必要。

お問合せ先

商務・サービスグループ ヘルスケア産業課

電話：03-3501-1790

メール：bzl-healthcare@meti.go.jp